

まちづくり

編集/発行：本別町議会

議会運営委員会、広報広聴常任委員会

連絡先：本別町議会事務局 電話. 22-8123 FAX. 22-2147 メール gikaisom@town.honbetsu.hokkaido.jp

町民の皆さまへの参加、

ありがとうございます

第7回町民懇談会

6会場に94人

4月20～22日

町民懇談会・議会報告会を毎年開催させていただいて、本年が7回目というところになりました。

今回の町民懇談会・議会報告会では、数年かけて検討してきた「議会基本条例」について、作成作業がほぼ終了しましたので、町民の皆さまに内容を報告し、ご意見をいただきたいとの趣旨も含んで開催させていただきました。

また、意見公募によるご意見(パブリックコメント)もいただけてきました。

「議会基本条例」は、今年の6月定例会での成立を目指して検討を進めているところでもあります。

ご参集いただきました皆さま方に改めて感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

本別町議会議長

方川 一郎



議長挨拶(北地区交流センター、4月20日)

会場	参加者数	アンケート数
北地区交流センター(北)	20人	16人
新町集会場(新)	10人	9人
美里別地区公民館(美)	12人	10人
本別生活館(生)	34人	29人
勇足地区公民館(勇)	13人	10人
仙美里地区公民館(仙)	5人	5人
合計	94人	79人

町民の皆さんからの議会への主なご意見

()内は各会場を示す

議会・議員活動

議会基本条例について(北)

- ①町民の皆さんへの周知はどのように行うのか。
- ②町側の「反問権」の行使は、どのような考え方で規定されているか。質問の根拠など町長側から問われるので議員の質が重要だが、あまり縛らず進めてほしい。
- ③条文の言葉が難しいので町民の皆さんが理解できる表現にしてほしい。

議員手当の増(美、生)

- 議員報酬が増額されたが、各議員の考え方を伺いたい。



本別町議会議場

各議員からの意見、見解など

()内は担当部局に確認した内容

▶*各会場、同趣旨のご質問ご意見、それらに対する議員の答弁は、編集の都合上、ある程度集約していることをご了承ください。

- ▶①手作りの冊子になりますが、全戸に配布する予定です。
- ②本町議会では反問権は実施要綱で規定しております。正確に相手に伝わる質問をすることが基本と思います。質問が明確でない場合、内容の確認、質疑の趣旨、質問の背景・根拠について、町長等が反問できます。
- ③多くの方にご理解いただけるような条文にすることを心がけて取り進めてきました。解説、用語解説も付けておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

▶報酬ではなく、議員の期末手当、年間4.1カ月分を、職員に対する人事院勧告に合わせて0.1カ月分、議員一人当たり年18,500円増額しました。

【賛成者の意見】これまで議会も人事院勧告に合わせて期末手当の引き上げ、引き下げをしてきました。

【反対者の意見】消費税、介護保険料などのアップで町民の皆さんの暮らしは大変なことから手当の増に反対しました。

町民の皆さんからの議会への主なご意見

児童福祉

「認定こども園」の建設は必要か（北、美、生、勇、仙）

①旧営林署苗畑跡地の利活用について、認定こども園建設も含め、今後どのように進めるのか。

②予算をかけ支援するとのことだが、なぜ必要なのか。また、なぜ民間が経営するのか。



本別公園で遊ぶ子どもたち

③町保育所から認定こども園に移る職員の身分保障はどうなっているのか。

④民間施設での事故のニュースがあったが、認定こども園における安全性の確保は。

人口減対策

本別をアピールし働く場の創出を（美、勇）

●人口減対策、少子化対策などについてはどのような取り組みを考えているか。本別は、自然にも恵まれ、災害も少なく住みやすい町。もっとアピールをすべき。また、転出が多く、働く場の確保がどこの町も課題だと思う。



本別町市街を望む

町財政 町の台所【財政】状況（北）

●町基金（貯金）、公債費（返済）、経常収支比率、財政指標はどのようになっているのか。また、基金の使い方はどのような考えがあるのか。

経常収支比率とは：人件費や公債費など経費に、地方税や地方交付税などの一般財源がどの程度費やされているかを求めたもの。低ければ低いほど財政運営に弾力性があります。

災害対策

美里別川の安全は（美）

●美里別川の堤防で大雨の際、1カ所危険なところがあると聞かすが、どこなのか知りたい。

障がいのある方の避難所設置は（北、生）

●災害時の避難所で障がいのある方や要介護者、高齢者などが避難できる場所を検討してもらいたいが。

各議員からの意見、見解など

▶①産業振興ゾーンなど6つのゾーンに分けて利活用を図る計画です。その一つに認定こども園を建設する予定ですが、その他のゾーンはご意見を聞きながら検討するという説明でした。

②町の説明では、中央・南保育所およびカトリック幼稚園の施設の老朽化、少子化（平成27年度出生数31人）による施設の集約化、病後児保育等のサービスの充実などが主な理由です。また、民間が建設した場合のみ、国の補助があり、町が運営した場合との比較試算では、町の持ち出しが毎年2,500万円程度減額することによって、平成28年度予算において認定こども園の建設費などについて議会として賛成しました。

③現職員の身分保障や待遇については協定をかわして、維持されることになっています。

④（乳児対応のチェックリストを作成し、15分おきに確認するなど）これまで同様に安全性への配慮、サービスなどを行っていくと捉えています。

▶これという決め手はないのですが、住みやすい町、子育てしやすい町、ここで暮らしていける町、福祉で心配のない町が必要なため、子育て支援（乳幼児医療）、企業誘致、新規作物研究などを提案、質疑してきました。

▶基金積立額は26年度末で約33億8,800万円、公債費は約7億4,500万円です。また、財政指標については本町はいずれも基準をクリアしている状況です。

近年では、「一定の積立額は必要ですが、使う時には使わなければならないのでは」と議論をしています。（経常収支比率は83.0%で、十勝管内19市町村中で上から14番目となっています。）

▶（美里別川は北海道の管理河川ですが、大雨で堤防が決壊するとの想定はされていないとのこと。町の防災マップにおいても危険箇所の想定はしていません。）

▶（これまで一般質問などでも取り上げられ、現在、一般避難所が39カ所、この中に福祉避難所を兼ねたところが5カ所あります。これ以外に単独の福祉避難所が8カ所指定されています。）

（※詳しくは「本別町防災ガイドマップ」を参照してください。）

町民の皆さんからの議会への主なご意見

教育、本別高校間口対策

本別高校を守る取り組みを（新、美、生、勇、仙）

●町も議会も本別高校を守る動きが見えない。足寄町はあれだけやっているから60人の入学、本別は何もやっていないように感じるが。

何か魅力や特色がないと

「本別高校に来てください」

とならない。何かのアクションを起こし、みんなで本別高校を残さなければ。



本別高等学校

旧仙美里中の利活用について現状は（新、美、仙）

●旧仙美里中学校跡地の利活用はどのように進められているのか。朽ちてきており、壊すのを待つ状況なのか。

老人福祉 養護老人ホームについて（生）

●養護老人ホームの待機者が7人と聞かすがその状況は。

産業経済

TPP関連意見書への賛否は（北、美、生、勇）

①「TPP国会批准するな」の意見書が3月議会で否決されたとのことだが、なぜか。各議員の対応と考えを聞きたい。



春耕作業、秋の収穫を目指して

②TPPによって本町農業が受ける影響額はどれくらいか。

各議員からの意見、見解など

▶本別高校の28年度の入学者は33人で、一年生は1学級となくなってしまいました。教育委員会では十勝管内の中学校への訪問や道教委への陳情を行っておりますが、1間口が続くと厳しい状況になるので、地元からの進学率も65%以上を目指し、2学級以上を確保したいと考えます。教育長は「早期に『町民集会』、『応援組織立ち上げ』を実施したい」と答弁しています。

（町民の集い：6月3日（金）、町体育館、19時から）

町、議会はもちろん町民の皆さんも一丸となって本別高校を残すよう頑張りましょう。

（足寄高校の入学者数は51人）

▶公募を行っていますが、現在地元の方で2件ほど応募があったと聞いています。

▶（申込書は提出していますが、現在、本人が入所を保留しています。）



養護老人ホーム「悠翠荘」

▶①【意見書に賛成者】TPPの影響は、農業だけでなく、保険、医療や遺伝子組み換えなど食の安全の問題もあります。また、国の対策も、既存の農業補助メニューを大綱へ置き換えた事業も多数あり賛成しました。

【意見書に反対者】すでに平成27年10月に大筋合意、本年2月には参加12カ国で署名され、これからはTPP関連政策大綱の対策のさらなる充実が重要なので反対しました。

②3月定例会での一般質問に対する町長答弁では、「平成25年度のJA本別町の取扱高で、国と北海道の試算に基づくと約5.7%、約5億8,500万円の減収となりますが、これだけではすまないと思う。」とのことでした。

「特別養護老人ホーム建て替え」についての質疑、ご意見は8月1日発行（予定）の議会だよりで掲載します。

行政などへの主なご意見、ご要望

- (生) 柏木町、緑町、向陽町の一部の道路が波を打ち、車がバウンドするような箇所がある。循環バス路線もあるため早期の改善を。
- (生) 向陽町団地の空き家が増えてきているため清掃と除雪をお願いしたい。
- (新、生) 新築住宅、住宅リフォーム助成について。
- (仙) 町のへき地患者輸送バス、週1回では不便。農協が始めた宅配も2,500円以上の注文をしなければ宅配料が無料にならず、現金払いが出来ないため農協に口座をつくらなければならない。買い物弱者の改善を。

各議員からの意見、見解など

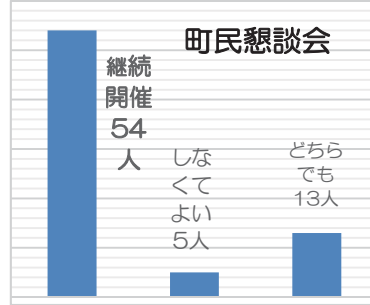
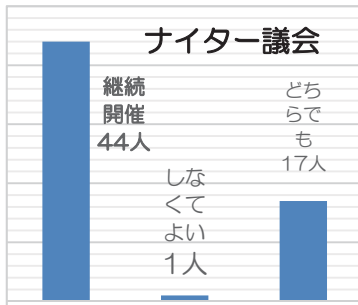
- ▶ 町に伝えます。
- ▶ 町に伝えます。
- ▶ 新築への助成は今年度から実施されます。(建設費用500万円以上の住宅で床面積が50㎡以上の場合に100万円を助成。町外業者施工の場合は20万円。この他にも要件があります。住宅リフォーム助成事業は平成29年度も継続します。
- ▶ 買い物弱者対策をとということで町に伝えます。



アンケートの
集計結果等
アンケートの詳細は町ホームページに掲載しています。

《参加者の皆さんの声》

- ・ 基本条例、反問権実施要綱の周知をよろしくお願ひいたします。
- ・ 報告は具体的ではなく良く分からなかった。大事なところは具体的に説明するべき。
- ・ 質問に対しての答弁があつていなかった。もう少しわかりやすい言葉で話していただいたほうが良かった。
- ・ 色々な問題があるので各議員は学習して議会で頑張ってもらいたい。
- ・ 本別町は福祉の町です。この福祉で企業のふるさと納税をしてもらう様にしては。



清掃活動に汗、議員一丸となって！
『議員ボランティアごみ拾い』(8年目)
平成28年5月12日(追名牛町道、美里別高東道道)



町民懇談会開催風景(本別生活館、4月21日)

